

2 総務概要

(1) 消防予算の概要

【第1表】一般会計予算と消防予算

(単位：千円)

区 分	令和5年度	令和4年度	比 較	対前年度伸率(%)
一 般 会 計 予 算 (A)	609,161,000	608,218,000	943,000	0.2
消 防 予 算 (B)	11,758,724	12,167,571	▲ 408,847	▲ 3.4
(B) / (A) × 100 (%)	1.9	2.0		

【第2表】当初予算総額

(単位：千円)

科 目		令和5年度	令和4年度	比 較	対前年度伸率(%)
12款1項	1目 消 防 職 員 費	9,312,959	9,250,257	62,702	0.7
	2目 常 備 消 防 費	836,038	813,305	22,733	2.8
	3目 非 常 備 消 防 費	407,444	417,308	▲ 9,864	▲ 2.4
	4目 消 防 施 設 費	1,202,283	1,686,701	▲ 484,418	▲ 28.7
合 計		11,758,724	12,167,571	▲ 408,847	▲ 3.4

(注) 1 常備消防費とは消防署所にかかる消防費をいう

2 非常備消防費とは消防団にかかる消防費をいう

【第3表】常備・非常備別予算

(単位：千円)

区 分	令和5年度	令和4年度	比 較	対前年度伸率(%)
常備消防に要する経費	11,163,725	11,591,941	▲ 428,216	▲ 3.7
非常備消防に要する経費	594,999	575,630	19,369	3.4
消 防 費 計	11,758,724	12,167,571	▲ 408,847	▲ 3.4

【第4表】財源内訳

(単位：千円)

歳出予算額	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	財産収入	諸収入	地方債	一般財源
11,758,724	41,992	55,705	135,959	8,163	102,139	807,800	10,606,966

【第5表】令和5年度予算における消防局主要事業の概要

(単位：千円)

区分	事務事業名	事業概要	予算額
消防体制の整備 あらゆる災害に対応するための	消防体制の充実強化	大規模災害への備えとして、豪雨災害時に使用する救命胴衣、火災や交通事故、土砂災害やテロ等特殊災害時に使用するチェーンソー、化学防護服等の資器材を整備する。また、林野火災対策として、泡消火剤等を配備する。	63,224
	消防職員の人材育成・能力向上	消防職員に必要な資格を取得させるとともに、専門知識や技術の向上を図るなど、計画的な人材育成を図る。	21,814
	消防施設の整備	消防施設の長寿命化を図るため、外壁改修工事などを計画的に進める。また、第三者所有方式による省エネ機器の導入などにより、消防施設におけるカーボンニュートラルを推進する。 ◆訓練研修センター（実施設計・改修工事） ◆若松消防署（実施設計・改修工事） 他8施設	152,400
	消防車両等の整備	消防活動に必要な指揮車等の更新に加え、消防ヘリコプターのエンジン交換を行う。	700,820 (債務負担 835,700)
火災予防対策の強化	木造の市場・商店街等における火災予防対策の強化	昨年の且過地区等の火災を受け、大規模な火災につながりやすい、木造の市場・商店街等が密集する地域の店舗（約1000店舗）に対して、「防火指導員」によるきめ細かな防火指導や地域ぐるみの消火訓練等を実施する。	9,000
	防火査察の強化	木造の市場・商店街が密集する地域における火災予防対策の強化を図るため、査察周期の短縮や、違反是正の強化を行う。	21,278
	住宅防火対策の推進	住宅火災による死者の発生を防ぐため、高齢者世帯を中心に、住宅用火災警報器の設置、点検及び交換を促進する。	781
救急体制の強化	救急体制の強化	増加する救急需要に対応するため、平日日中に臨時編成する「機動救急隊」を運用する。また、救急車4台を更新するとともに、救急救命士6人を養成する。	229,391
	救急活動の質の向上	より多くの命を救うため、医療機関との緊密な連携により、医師による専門性の高い指導・助言を受けることで、救急活動の質の向上を図る。	7,096
	市民による応急手当の普及啓発活動の推進	市民による救命技術の向上を図るため、応急手当の普及啓発活動を推進する。	976
地域における災害対応力の向上	消防団の充実強化	老朽化した消防団施設の建替えを計画的に進めるとともに、防火服やヘルメット、安全靴など、装備の充実を図る。また、消防団員の活動を積極的にPRするなど、消防団への入団促進を図る。 ◆小倉北消防団第2分団本部新築（砂津三丁目）	312,365
	いきいき安心訪問の推進	高齢者の安全・安心の向上を図るため、消防団員が一人暮らし高齢者世帯等を訪問し、防火・防災などの啓発や、簡単な身の回りのお世話、福祉相談の関係機関への伝達などを行う。 ◆令和5年度の訪問予定数 2,240世帯	8,736
	市民防災活動への支援	災害に強い安全・安心なまちづくりに向け、地域の自主防災力を向上させるため、「市民防災会」への防災リーダー研修の実施や、地域で開催される防災訓練の支援を行う。	6,596
	あんしん通報システムの運用	高齢者世帯等を対象として、火災センサーの感知やボタンを押すことで緊急通報できる装置を設置し、緊急時、より迅速に消火・救急活動ができる体制づくりに取り組む。	479

(2) 消防職員

ア 職員配置・年齢

【第6表】消防局配置表

(令和5年4月1日現在)

区 分	計	消 防 吏 員										消防吏員以外の消防職員					
		小 計	局長	部長		課長	係長	主査	主任	係員		小 計	局 長	部 長	課 長	係 長	係 員
			消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士						
計	991	990	1	9	3	43	140	259	342	102	91	1	0	0	0	1	0
局 長	1	1	1									0					
総務部	部 長	2	2		2							0					
	総 務 課	19	18				2	4	6	6		1				1	
	人 事 課	9	9				1	2	2	2	2	0					
	訓練研修センター	24	24				2	3	3	1		15	0				
予防部	部 長	1	1		1							0					
	予 防 課	9	9				1	3	4		1	0					
	指 導 課	13	13				1	3	4	5		0					
警防部	規 制 課	10	10				1	2	3	4		0					
	部 長	1	1		1							0					
	警 防 課	9	9				1	2	3	3		0					
救急部	消 防 団 課	6	6				1	2	2		1	0					
	消防航空隊	13	13				1	3	5	4		0					
	部 長	1	1		1							0					
消防局計	救 急 課	23	23				1	5	7	10		0					
	指 令 課	33	33				3	3	12	14	1	0					
	消 防 局 計	174	173	1	5	0	15	32	51	49	5	15	1	0	0	0	1
門 司	署 長	1	1		1							0					
	予 防 課	10	10				1	3	2	4		0					
	警 防 課	114	114				3	12	27	39	17	16	0				
小倉北	小 計	125	125	0	1	0	4	15	29	43	17	16	0	0	0	0	0
	署 長	1	1		1							0					
	予 防 課	14	14				1	3	3	6		1	0				
小倉南	警 防 課	144	144				3	18	42	55	15	11	0				
	小 計	159	159	0	1	0	4	21	45	61	15	12	0	0	0	0	0
	署 長	1	1		1							0					
若 松	予 防 課	13	13				1	3	5	4		0					
	警 防 課	111	111				3	15	27	45	9	12	0				
	小 計	125	125	0	0	1	4	18	32	49	9	12	0	0	0	0	0
八幡東	署 長	1	1		1							0					
	予 防 課	11	11				1	3	3	3	1	0					
	警 防 課	69	69				3	9	15	24	11	7	0				
八幡西	小 計	81	81	0	1	0	4	12	18	27	12	7	0	0	0	0	0
	署 長	1	1		1							0					
	予 防 課	15	15				1	3	3	7	1	0					
戸 畑	警 防 課	144	144				3	18	42	51	18	12	0				
	小 計	160	160	0	1	0	4	21	45	58	19	12	0	0	0	0	0
	署 長	1	1		1							0					
消防署計	予 防 課	10	10				1	3	3	2	1	0					
	警 防 課	57	57				3	6	12	18	9	9	0				
	小 計	68	68	0	0	1	4	9	15	20	10	9	0	0	0	0	0
消 防 署 計	817	817	0	4	3	28	108	208	293	97	76	0	0	0	0	0	0

(注) 1 勤務形態別配置状況 交替制勤務職場：783人、毎日勤務職場：208人
 2 女性消防吏員：55人（昭和62年から採用開始）

【第7表】職員の年齢

(令和5年4月1日現在)

区 分	計	消 防 吏 員										消防吏員以外の消防職員				
		小計	消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	小計	部長	課長	係長	係員
平均	40.4	40.4	59.0	58.2	57.3	54.4	50.1	44.6	39.4	27.5	22.9	52.0			52.0	
計	991	990	1	9	3	43	140	259	342	102	91	1	0	0	1	0
18歳～20歳	12	12									12	0				
21歳～25歳	78	78								11	67	0				
26歳～30歳	123	123							32	80	11	0				
31歳～35歳	155	155						11	132	11	1	0				
36歳～40歳	157	157					8	74	75			0				
41歳～45歳	104	104					24	56	24			0				
46歳～50歳	149	149				7	49	72	21			0				
51歳～55歳	99	98				19	26	28	25			1			1	
56歳以上	114	114	1	9	3	17	33	18	33			0				

イ 職員の任用・退職

【第8表】職員の任用・退職

(令和4年度)

区 分	計	消 防 吏 員										消防吏員以外の消防職員				
		消防司監	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	局長	部長	課長	係長	係員	
任用	小計	48	0	1	0	1	8	0	19	0	19	0	0	0	0	0
	採用											19				
	試験採用	19														
	選考採用	0														
	再任用(短時間含む)	29		1		1	8		19							
	昇任															
出向	選考昇任	93		1	2	4	7	14	36	29						
	市長部局等へ転出	19		1		1	6	3	6	2						
	市長部局等から転入	17				1	5	3	6	2						
	休職	3						2	1							
	復職	2						1		1						
退職等	計	30	0	1	0	4	5	3	12	5	0	0	0	0	0	0
	普通退職	9					1		3	5						
	定年退職	15		1		4	3	3	4							
	再任用退職	6					1		5							
	死亡・その他	0														

【第9表】消防士の採用試験（過去5年間）

区分	試験実施年度	受験者	合格者	最終合格率 単位：倍	翌年度の採用人員
初級職	平成30年度	191 (7)	11 (2)	17.3 (3.5)	10 (2)
	令和元年度	173 (8)	7 (1)	24.7 (8.0)	7 (1)
	令和2年度	108 (13)	8 (2)	13.5 (6.5)	8 (2)
	令和3年度	133 (7)	8 (1)	16.6 (7.0)	8 (1)
	令和4年度	75 (5)	5 (0)	15.0 (—)	5 (0)
上級職	平成30年度	196 (6)	20 (0)	9.8 (—)	17 (0)
	令和元年度	136 (3)	14 (0)	9.7 (—)	14 (0)
	令和2年度	132 (8)	13 (1)	10.2 (8.0)	13 (1)
	令和3年度	115 (1)	11 (0)	10.5 (—)	10 (0)
	令和4年度	116 (7)	10 (2)	11.6 (3.5)	10 (2)

- (注) 1 ()は女性消防士で内数
 2 回転翼航空機操縦士及び整備士は除く
 3 消防士(航海・機関)区分は除く

ウ 職員の派遣・訓練研修

【第10表】職員の派遣先

(令和5年4月1日現在)

福岡県消防学校	1人	北九州市	小倉北区役所コミュニティ支援課	1人	
一般財団法人救急振興財団	5人		小倉南区役所コミュニティ支援課	3人	
福岡管区气象台予報課	1人		若松区役所総務企画課	1人	
総務省消防庁救急企画室	1人		若松区役所コミュニティ支援課	1人	
北九州市	危機管理室危機管理課		9人	八幡東区役所総務企画課	1人
	企画調整局総務調整部総務課		1人	八幡東区役所コミュニティ支援課	1人
	企画調整局企画政策部企画課		1人	八幡西区役所総務企画課	3人
	門司区役所		1人	八幡西区役所保健福祉課	1人
	門司区役所総務企画課		1人	戸畑区役所総務企画課	1人
	門司区役所コミュニティ支援課		1人	戸畑区役所コミュニティ支援課	2人
	小倉北区役所総務企画課	2人			

【第11表】訓練研修・資格取得・派遣状況

(ア) 基本研修

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	新規採用職員研修	R4.4.1～R4.4.22 R4.9.22～R4.10.31	訓練研修センター	21人	総務部訓練研修センター
2	消防士・消防副士長（採用2～5年次）研修		訓練研修センター		〃
3	消防士長研修	R4.6.2～R4.6.3 R4.6.9～R4.6.10	訓練研修センター	39人	〃
4	消防司令補昇任候補者研修	R4.12.12～R4.12.16	訓練研修センター	17人	〃
5	消防司令昇任候補者研修	R5.3.6～R5.3.10	訓練研修センター	10人	〃
6	消防司令及び管理者研修	R4.11.25	訓練研修センター	80人	〃
7	女性消防吏員研修	R4.9.30	訓練研修センター	41人	〃

(イ) 専門研修

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	火災調査課程	R4.10.13～R4.10.14 R4.12.7～R4.12.9	訓練研修センター	21人	予防部予防課
2	予防技術課程	R4.5.23～R4.6.10	訓練研修センター	10人	予防部指導課
3	消防機関員課程	R4.7.1 R5.1.30～R5.2.1	訓練研修センター	22人	警防部警防課
4	救助課程	R4.6.20～R4.6.24 R4.12.5～R4.12.9 R5.1.10～R5.1.16	訓練研修センター	14人	〃

(ウ) 特別研修(派遣研修)

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	第138回初任教育	R4. 4. 6～R4. 9. 22	福岡県消防学校	18人	総務部訓練研修センター
2	第15回初級幹部科 (A)	R4. 12. 12～R4. 12. 16	福岡県消防学校	2人	〃
3	第51回初級幹部科 (B)	R4. 10. 17～R4. 10. 28	福岡県消防学校	2人	〃
4	第39回救急科	R5. 1. 11～R5. 2. 28	福岡県消防学校	18人	〃
5	幹部科 (第72期)	R5. 1. 10～R5. 2. 24 (eラーニング期間 R4. 8. 30～R4. 12. 27)	消防大学校	1人	〃
6	指揮隊長コース (第27回)	R4. 4. 7～R4. 4. 19	消防大学校	1人	〃
7	航空隊長コース (第22回)	R4. 12. 1～R4. 12. 14	消防大学校	1人	〃
8	女性活躍推進コース (第7回)	R4. 12. 15～R4. 12. 23 (eラーニング期間 R4. 10. 25～R4. 12. 8)	消防大学校	1人	〃
9	石けん系泡消火剤に関する 研修	R5. 2. 7	(We b配信)		総務部総務課
10	九州地区警防実務研修会	R4. 12. 5～R4. 12. 16	福岡市消防学校	1人	総務部訓練研修センター
11	九州地区大規模災害対応実務研修会	R5. 3. 13～R5. 3. 17	福岡市消防学校	1人	〃
12	消防研究センター実務研修	R5. 3. 8～R5. 3. 10	消防研究センター	1人	予防部予防課
13	九州地区予防実務研修会	R5. 1. 16～R5. 1. 27	福岡市消防学校	1人	予防部指導課
14	危険物事故事例セミナー	R5. 3. 1～R5. 3. 31 (配信期間)	(We b配信)	1人	予防部規制課
15	石油コンビナート事務担当者研修会	R5. 3. 6 (配信期間)	(We b配信)	1人	〃
16	危険物等事故防止ブロック連絡会議 (危険物事故防止講習会)	R4. 10. 14	長崎県庁	1人	〃
17	企業防災対策指導研修会	R5. 2. 1～R5. 2. 28	(We b配信)	1人	〃
18	第37回危険物保安技術 講習会	R4. 8. 15～R4. 9. 30	(We b配信)	1人	〃
19	火業類取締法研修	R4. 7. 14～R4. 7. 15	(オンライン研修)	1人	〃
20	高圧ガス保安法研修	R4. 7. 4～R4. 7. 8	(オンライン研修)	1人	〃
21	行政機関向け高圧ガス保安法令等研修会	R4. 9. 7～R4. 9. 27 (配信期間)	(We b配信)	1人	〃
22	液石法研修	R5. 1. 17～R5. 1. 18	(オンライン研修)	1人	〃
23	第25回全国消防救助 シンポジウム	R4. 11. 15	銀座プロッサム中央 会館 (東京都)	1人	警防部警防課
24	令和4年度国際消防救助隊 セミナー	R5. 2. 20～R5. 2. 22	全国市町村国際文化研修所	1人	〃
25	ヘリコプター乗員向け不時着対応訓練	R4. 9. 2	日本サバイバル トレーニングセンター	1人	警防部消防航空隊
26	飛行訓練装置による計器飛行訓練	R4. 11. 8～R4. 11. 10	東京都	1人	〃
27	救急救命士病院実習 (再研修・3日勤)	R4. 5. 25～R4. 12. 16	市内7病院	15人	救急部救急課
28	救急救命士病院実習 (再研修・1日勤1当務)	R4. 5. 25～R4. 12. 16	市内7病院	107人	〃
29	救急救命士病院実習 (就業前)	R4. 5. 1～R4. 9. 30	市立八幡病院	8人	〃
30	救急救命士気管挿管 病院実習	R4. 8. 1～R4. 12. 21	新小文字病院	6人	〃
31	第40回福岡救急医学会	R4. 9. 3	(We b配信)	5人	〃
32	第31回全国救急隊員 シンポジウム	R5. 1. 26～R5. 1. 27	広島県広島市	5人	〃
33	事後検証委員会 (全5回)	奇数月開催 (第3木曜日)	(We b配信)	計105人	〃
34	感染防止対策強化研修	R4. 4. 18～R4. 4. 22	救急救命九州研修所	1人	〃

(エ) 特別研修（資格取得）

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	整備管理者選任前研修	R4. 7. 13	福岡市	2人	総務部総務課
2	第一級陸上特殊無線技士資格取得研修	R5. 1. 10～R5. 3. 31	(eラーニング)	1人	〃
3	第三級陸上特殊無線技士資格取得研修	R4. 10. 7	訓練研修センター	18人	〃
4	大型自動車運転免許資格取得	R4. 9. 1～R5. 3. 31	市内自動車学校	14人	総務部人事課
5	第一種衛生管理者資格取得	R4. 8. 3～R4. 9. 6	小倉北区 久留米市	3人	〃
6	有機溶剤作業主任者技能講習	R5. 2. 20～R5. 2. 21	小倉北区	1人	予防部予防課
7	特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者技能講習	R5. 2. 9～R5. 2. 10	小倉北区	1人	〃
8	エックス線作業主任者	R5. 1. 24	久留米市	1人	〃
9	二級小型船舶操縦士資格	R4. 10. 2 R4. 10. 11 R4. 10. 16	門司区	4人	警防部警防課
10	潜水士資格取得	R4. 6. 17 R4. 9. 27 R5. 2. 24	九州安全技術センター 思永中学校温水プール	6人	〃
11	玉掛技能講習	R4. 10. 18～R4. 10. 20	戸畑区	5人	〃
12	小型移動式クレーン運転技能講習	R4. 11. 17～R4. 11. 19	戸畑区	5人	〃
13	フォークリフト技能講習	R4. 11. 28～R4. 12. 1	戸畑区	2人	〃
14	救急救命士養成課程	R4. 4. 5～R4. 10. 3 R4. 9. 2～R5. 3. 13	救急救命東京・九州研修所	6人	救急部救急課
15	航空特殊無線技士資格	R4. 8. 3～R4. 8. 5	大阪市	1人	救急部指令課

(オ) 特別研修（各種研修）

No.	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	第46回北九州市消防職員意見発表会	R5. 1. 27	訓練研修センター	60人	総務部訓練研修センター
2	はしご自動車等操作員研修	R4. 11. 29～R4. 12. 1	訓練研修センター	21人	〃
3	査察ファーストステップ講座	R4. 9. 2 R4. 9. 9 R4. 9. 16	訓練研修センター	25人	予防部指導課
4	査察セカンドステップ講座	R4. 11. 11 R4. 11. 18 R4. 11. 25	訓練研修センター	34人	〃
5	違反処理研修「基礎編・実務編」	R4. 8. 3～R4. 8. 5	消防局	13人	〃
6	消防活動用設備研修	R4. 10. 14	リバーウォーク北九州	14人	〃
7	予防技術資格者等再講習	R5. 2. 17	訓練研修センター	40人	〃
8	火災調査発表会	R5. 3. 3	訓練研修センター	24人	予防部予防課
9	救助事例研究会	R5. 1. 20	訓練研修センター	各消防署	警防部警防課
10	防災基本研修	R4. 6. 3	消防局3階警防本部室	23人	〃
11	防災研修	R4. 12. 16	訓練研修センター	50人	〃
12	特殊災害対応研修	R5. 1. 20	訓練研修センター	70人	〃
13	救急救命士研修課程に係る派遣候補者選考試験	R4. 8. 5	訓練研修センター	22人	救急部救急課
14	学卒救命士キャリア形成プログラム【第1段階】	R4. 5. 20	消防局	5人	〃
15	学卒救命士キャリア形成プログラム【第2段階】	R4. 6. 2～R4. 8. 5	消防局	2人	〃
16	指令課研修	R4. 5. 16～R4. 7. 31	各消防署	消防局 各消防署	救急部指令課

(カ) 特別研修 (各種訓練)

No	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	新任大隊長研修	R4.5.6 R4.5.13 R4.5.20	訓練研修センター	5人	総務部訓練研修センター
2	実火災体験型訓練	R4.7.8 R4.7.15 R4.7.22	〃	39人	〃
3	訓練指導小隊調整会議	R4.4.22	〃	21人	〃
4	前期警防技術錬成会	R4.6.27~R4.6.29	〃	21隊	〃
5	後期警防技術錬成会	R4.11.27	〃	署7隊 団7隊	〃
6	第1回消防活動実戦訓練 (方面訓練)	R4.4.26~R4.6.1	訓練研修センター	126隊	東西方面本部
7	第2回消防活動実戦訓練	中止			総務部訓練研修センター
8	第3回消防活動実戦訓練 (方面訓練)	中止			東西方面本部
9	水難救助連携訓練	R4.6.3	小倉北消防署浅野分署 消防艇けい留用浮棧橋の周辺海域	7隊	警防部警防課
10	風水害等防災シミュレーション訓練	R4.5.23~R4.6.2	消防局 各消防署 各区役所	消防局 各消防署 各区役所	〃
11	第33回北九州市IRT総合訓練	R4.10.6~R4.10.7	旧健和会おさゆき病院 訓練研修センター	76人	〃
12	集団救急救助訓練		訓練研修センター (事前研修)	23隊	〃
13	国際消防救助隊派遣シミュレーション訓練	R4.6.9~R4.6.10	消防局 各消防署	消防局 各消防署	〃
14	第6回緊急消防援助隊全国合同訓練図上訓練	R4.7.27	宮崎県東児湯消防組合消防本部	1隊	〃
15	第6回緊急消防援助隊全国合同訓練	R4.11.10~R4.11.13	静岡県富士山静岡空港等	2隊	〃
16	令和4年度緊急消防援助隊九州ブロック 合同訓練	R4.11.26~R4.11.27	沖縄県中城湾港 マリントウン等	2隊	〃
17	令和4年度北九州市消防局緊急消防援助隊 後方支援活動訓練	R4.10.6~R4.10.7	旧健和会おさゆき病院	8人	〃
18	航空活動連携指定救助隊訓練	R4.5.6~R5.3.17	航空隊基地 響灘訓練場、水晶山	6隊	警防部消防航空隊
19	離島救急連携訓練	R4.6.28	藍島 馬島 (中止)	17人	〃
20	連携救急隊訓練	R4.5.27 R4.6.3 R4.6.10	航空隊基地 響灘訓練場	15人	〃
21	水難救助救出訓練	R4.5.6 R4.5.20	昭和池	26人	〃
22	救急隊員集合訓練 (第1期)	R4.4.8~R4.4.22	訓練研修センター	23隊	救急部救急課
23	救急隊員集合訓練 (第2期)	R4.10.25~R4.11.30	各所属	23隊	〃
24	救急隊員集合訓練 (第3期)	R5.2.10~R5.2.24	訓練研修センター (縮小)	73人	〃
25	119番分散受信訓練 (計21回)	R4.5.16~R4.7.31	消防局指令課及び各消防署	消防局 各消防署	救急部指令課

(キ) 特別研修 (国際交流)

No	研修名	日程	場所	人数	主管課
1	JICA研修「消防・防災」	R4.11.15~R4.12.9	訓練研修センター他	講師:16人 補助講師:3人	総務部訓練研修センター

(3) 職員等の表彰・市民表彰

【第12表】職員・市民表彰

(令和4年度)

区分	計	国			消防長官			知事			市長			消防長			消防署長・部長			全国消防長会会長					全国消防協会会長				
		叙位	叙勲	特別叙勲	功労章	永年勤続功労章	国際協力功労章	永年勤続功労章	人命救助功労章	防火思想普及等	市民表彰	永年勤続功労(30年)	永年勤続功労(20年)	功績表彰	特別功労	功績表彰	善行表彰	協力表彰	賞詞	功績表彰	善行表彰	協力表彰	永年勤続(40年)	永年勤続(35年)	永年勤続(30年)	永年勤続(25年)	永年勤続(20年)	全国優良消防職員	
市民表彰	小計	65	0	0	0	0	0	0	0	15	0	0	0	0	0	0	17	0	0	0	33	0	0	0	0	0	0	0	
	人員	63								15							17				31								
	団体数	2																			2								
職員表彰		130		9		1	4		23			25	15	1		8			1								41		2

(注) 職員表彰の叙勲数については消防局退職者とする

(4) 職場環境・衛生

ア 消防職員委員会

【第13表】消防職員委員会意見提出状況（過去5年間）

区 分	計		意 見 区 分						審議対象外	
			勤務条件		被服・装備		機械・設備			
	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数	延数	実数
平成30年度	7	7	2	2	5	5	0	0	0	0
令和元年度	45	16	37	11	2	2	5	2	1	1
令和2年度	18	10	16	9	2	1	0	0	0	0
令和3年度	12	11	9	8	3	3	0	0	0	0
令和4年度	3	3	1	1	0	0	2	2	0	0

(令和4年度意見提出状況)

- ・ 警防課職員における交替前の資器材積み替えについて
- ・ 消防車及び救急車の車両後部の車両搭載情報板の設置について
- ・ 救急車の側面作業灯及び後部作業灯の導入について

イ 職場安全衛生

(ア) 健康管理

全職員を対象に、疾病の早期発見や感染防止を目的として、健康診断や予防接種を行っています。

a 健康診断

特定業務従事者健康診断、特殊健康診断（高気圧、石綿取扱い業務等従事者）
消防艇乗務員健康診断、航空身体検査

b 予防接種

破傷風予防接種、B型肝炎予防接種、救急隊員を対象とした各種ワクチン接種

(イ) 公務災害

【第14表】職員の公務災害発生状況

(令和4年度認定請求分)

区 分	計	公務災害					通勤災害	
		災害現場	警防訓練	救助技術 大会訓練	通勤途上	その他		
計	10	2	4	2	1	1	0	
負傷 状態 未 満	休業 3 週 間 未 満	挫創傷	0					
		打撲傷	2		1	1		
		捻挫	0					
		火傷	0					
		骨折(脱臼)	0					
		ガス中毒	0					
		その他	3		1	1		1
負傷 状態 以 上	休業 (死亡含む) 3 週 間 以 上	挫創傷	3	1	2			
		打撲傷	0					
		捻挫	0					
		火傷	0					
		骨折(脱臼)	2	1			1	
		ガス中毒	0					
		その他	0					

(注) 認定請求中のものを含む

(5) 消防機械・施設の概要

ア 消防車両等の整備

【第15表】消防車両等の整備状況

(令和4年度)

車 種	台 数	内 容
普通消防ポンプ自動車 (C A F S 付)	5	更 新
高 規 格 救 急 自 動 車	4	更 新
	1	新 規
査 察 車 (軽 自 動 車)	3	更 新

【第16表】消防車両等の配置

(令和5年4月1日現在)

区分	計	普通消防ポンプ自動車	水槽付消防ポンプ自動車	化学消防自動車	ポンプ自動車		はしご付車		屈折はしご付消防自動車(ポンプ付)	救助工作車	水難救助工作車	特別高度工作車	特殊災害対応自動車	災害目的対応車		高発泡後方支援車	後方支援車	指揮車	司令車	原因調査車	査察車	輸送車	資材搬送車	高規格救急自動車	消防艇	回転翼航空機	起震車	監察車	指揮車	防炎指導車	救急指導車	電源供給車	燃料補給車	フォークリフト	バス															
					IV型	大型	大型	30m級						15m級	2000ℓ																					2000ℓ	1600ℓ	林野火災用	集団救急災害用											
消防局	34	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	2	1	1	2	1	1	18	8	1	10	33	5	2	1	28	1	1	1	1	1	9	1	1	1	1	1	1	2				
門司消防署	26	4	4	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	1	4	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
本署	13	1	1				1									1		1	1		1	3			2																									
老松分署	8	1	1	1						1									1			1	1		1																									
松ヶ江分署	3	1	1																						1																									
門司西分署	2	1	1																																															
小倉北消防署	33	5	3	0	0	0	1	0	1	0	1	1	1	1	0	0	0	2	1	0	1	5	1	0	0	6	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0			
本署	17	2	2				1											2	1		1	4			3																									
浅野分署	9	1	1					1			1											1	1		1	1																								
井堀分署	4	1										1	1												1																									
富野分署	3	1								1															1																									
小倉南消防署	24	4	3	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	1	4	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
本署	15	1	2				1							1				2	1		1	4			2																									
三谷分署	2	1																						1																										
新曾根分署	3	1								1														1																										
臨空分署	4	1	1	1																					1																									
若松消防署	21	2	3	1	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	3	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
本署	14	1	2	1			1											1	1		1	3	1		2																									
石峯分署	3	1								1															1																									
ひびきの分署	4	1									1															1																								
八幡東消防署	19	4	2	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	3	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
本署	13	2	1						1								1	1	1		1	3	1																											
枝光分署	3	1	1	1																																														
高見分署	3	1								1																1																								
八幡西消防署	31	4	5	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2	1	0	1	6	0	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
本署	18	1	2	1										1				2	1		1	6		1	2																									
折尾分署	4	1	1				1																		1																									
黒崎分署	3	1						1																	1																									
上津役分署	3	1								1																1																								
金剛分署	3	1	1																						1																									
戸畑消防署	15	2	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
本署	13	1	1		1	1												1	1		1	2	1		1	1																								
大谷分署	2	1								1																																								

(注) 救助工作車はポンプ付き(小倉北消防署富野分署に配置のIII型救助工作車を除く)

イ 消防庁舎の整備

【第17表】消防庁舎の現況

(令和5年4月1日現在)

区 分	敷 地		構 造	建築面積 (㎡)	建築延面積 (㎡)	建築年月日	
	面 積 (㎡)	所 有					
消 防 局	2,108.96	市有地	鉄骨鉄筋コンクリート造 6階	1,080.24	4,791.11	H14. 2.15	
門 司 消 防 署	1,531.34	市有地	鉄筋コンクリート造 3階	1,031.97	2,446.94	H31. 1.22	
老 松 分 署	3,183.69	〃	鉄筋コンクリート造 2階	664.74	1,036.27	H 6. 3.10	
松 ヶ 江 分 署	1,200.00	〃	鉄筋コンクリート造 2階	548.02	756.27	H 7.12.25	
門 西 分 署	268.22	〃	鉄筋コンクリート造 2階	135.20	211.15	S47. 2.18	
小 倉 北 消 防 署	3,456.11	市有地	鉄筋コンクリート・一部鉄骨造 3階	1,577.65	2,998.11	H26. 1.25	
浅 野 分 署	2,510.00	〃	鉄筋コンクリート造 2階	639.26	1,158.31	H16. 1.30	
井 堀 分 署	856.21	〃	鉄筋コンクリート造 2階	425.93	672.40	H10. 3.20	
富 野 分 署	938.57	〃	鉄筋コンクリート造 2階	349.32	570.03	H15. 3.24	
小 倉 南 消 防 署	1,570.00	市有地	鉄筋コンクリート造 2階	843.30	1,483.39	S49. 3.16	
三 谷 分 署	747.12	〃	鉄筋コンクリート造 2階	241.81	340.32	S46. 3.25	
新 曾 根 分 署	1,199.00	〃	鉄筋コンクリート造 2階	389.98	585.86	H19. 3.24	
臨 空 分 署	1,644.67	〃	鉄筋コンクリート造 2階	421.93	700.59	H18. 2.10	
若 松 消 防 署	3,464.77	市有地	鉄筋コンクリート造 3階	919.81	2,330.86	H11.11.30	
石 峯 分 署	847.16	〃	鉄筋コンクリート造 2階	387.79	710.52	R 3. 2.26	
ひ び きの 分 署	1,330.00	〃	鉄筋コンクリート造 2階	544.83	718.16	H30. 6. 7	
八 幡 東 消 防 署	4,075.23	市有地	鉄筋コンクリート造 4階	1,398.14	2,565.32	H28. 3.24	
枝 光 分 署	1,537.96	〃	鉄筋コンクリート造 2階	396.93	549.19	H13. 3.31	
高 見 分 署	1,593.86	〃	鉄筋コンクリート造 2階	361.71	687.09	H16.12.21	
		(高見市民センター含む)					
八 幡 西 消 防 署	3,500.74	市有地	鉄筋コンクリート造 4階	1,718.21	3,160.71	R 2. 1. 7	
折 尾 分 署	1,468.35	〃	鉄筋コンクリート造 2階	422.80	687.93	H10. 3.18	
黒 崎 分 署	1,295.84	〃	鉄筋コンクリート・一部鉄骨造 2階	532.05	683.54	S62.10.31	
上 津 役 分 署	1,032.02	〃	鉄筋コンクリート造 2階	415.58	643.67	H11. 3.20	
金 剛 分 署	3,705.19	〃	鉄筋コンクリート造 2階	531.38	672.01	R 3. 3. 8	
戸 畑 消 防 署	2,899.84	市有地	鉄筋コンクリート造 3階	1,083.14	2,425.70	H19.11. 9	
大 谷 分 署	399.36	〃	鉄筋コンクリート造 2階	135.61	260.44	S38. 1.26	
市 民 防 災 セ ン タ ー (消防訓練研修センター)	19,930.91	市有地					
本 館			鉄筋コンクリート造 2階	429.64	861.64	S57. 3.26	
別 館			鉄筋コンクリート造 3階	1,244.00	1,886.24	H 4. 2.29	
車 庫			鉄 骨 造 1 階	103.50	103.50	S57. 3.26	
倉 庫			補強コンクリートブロック造 1階	80.09	80.09	S60. 3.30	
耐 熱 耐 煙 訓 練 棟			鉄筋コンクリート造 2階	245.21	493.64	S62. 3.27	
主 塔			鉄骨鉄筋コンクリート造 11階	125.58	478.41	S51. 3.31	
副 塔			鉄筋コンクリート造 7階	36.32	168.50	〃	
消 防 科 学 研 究 所			鉄筋コンクリート造 2階	121.80	201.80	H 2. 3.20	
救 急 実 技 研 修 棟			軽 量 鉄 骨 造 2 階	236.40	440.40	H 7.12.25	
消 防 航 空 隊	3,087.36	国有地	鉄筋コンクリート造 2階	1,066.91	1,366.82	H18. 2.23	
救 急 ワ ー ク ス テ ー シ ョ ン	445.18	市有地	鉄 骨 造 2 階	222.28	321.63	H31. 1.21	
石 油 コ ン ビ ナ ー ト 防 災 資 機 材 倉 庫		浅野分署敷地内	鉄 骨 造 1 階	149.70	149.70	H16. 1.30	
東 部 備 蓄 セ ン タ ー		〃					
市 民 防 災 資 機 材 倉 庫		〃	鉄筋コンクリート造 2階	201.93	386.12	H15. 1.22	
石 油 コ ン ビ ナ ー ト 防 災 資 機 材 倉 庫		八幡西消防署敷地内					
西 部 備 蓄 セ ン タ ー		〃	八 幡 西 消 防 署 に 含 む				
防 災 資 機 材 黒 崎 備 蓄 倉 庫 (八 幡 西 区)	466.59	市有地	鉄筋コンクリート造 2階	168.41	271.91	S44. 3.29	
林 野 火 災 消 火 資 機 材 備 蓄 倉 庫 (小 倉 南 区)	115.72	市有地	補強コンクリートブロック造 1階	42.12	42.12	S53. 9. 2	
北 湊 倉 庫 (若 松 区)	583.14	市有地	木 造 1 階	84.35	84.35	S58. 3.14	
林 野 火 災 消 火 資 機 材 備 蓄 倉 庫		八幡西消防署敷地内					
		〃	八 幡 西 消 防 署 に 含 む				
石 峰 山 無 線 中 継 所 (若 松 区)		産業経済局敷地内	市有地	コンクリートブロック造 1階	40.54	40.54	S58. 3.31
		〃	鉄筋コンクリート造 1階	59.40	59.40	H 8. 3.31	
母 原 無 線 中 継 所 (小 倉 南 区)		産業経済局敷地内	〃	コンクリートブロック造 1階	40.34	40.34	S59. 3.31

(注) 八幡東消防署高見分署は、市民センター・学童保育クラブとの合同庁舎

(6) 市民防災センター

市民防災センターは、講習会等を通じて市民や各種防災団体に正しい防災知識を習得してもらい“自分たちの家庭やまちや職場は自分たちで守る”という自主防災意識の醸成を目的として、昭和57年4月に開設しました。

以来、消防職員・消防団員の消防訓練場としての機能も果たすべく、昭和62年3月に高温多湿下の環境となる火災現場を再現できる訓練施設として耐熱耐煙訓練棟を建設、平成4年2月には、屋内訓練場や大研修室を備えた別館を建設、平成7年12月には、救急訓練や救命講習のための救急実技研修棟を建設し、雨天時の訓練や多人数の研修、講習会等に活用しています。

【第18表】市民防災センター利用状況

区 分	<直近10年間>		
	消防職員・団員	市 民	合 計
平成25年中	10,872	5,044	15,916
平成26年中	10,754	5,123	15,877
平成27年中	10,780	5,026	15,806
平成28年中	15,181	7,179	22,360
平成29年中	16,836	7,171	24,007
平成30年中	11,780	5,445	17,225
令和元年中	16,192	6,049	22,241
令和2年中	5,740	2,992	8,732
令和3年中	8,423	3,789	12,212
令和4年中	11,268	3,579	14,847



(7) 国際協力・技術協力の推進

国際協力・交流事業として独立行政法人国際協力機構（JICA）を通じ、海外の消防関係者を受け入れる多様な事業を実施しています。

【第19表】JICA研修「消防・防災」国別研修参加実績表

国名等	1988~16	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計	国名等	1988~16	2017	2018	2019	2020	2021	2022	計
大韓民国	1							1	ブラジル	7						1	8
中華人民共和国	8							8	アルゼンチン	3							3
インドネシア	2							2	コロンビア	1							1
マレーシア	8							8	チリ	2							2
ミャンマー連邦	14		1	1				16	ドミニカ	3							3
ネパール	4							4	ジャマイカ	5			1				6
パキスタン	3							3	パラグアイ	4							4
フィリピン	10							10	ウルグアイ	9							9
スリランカ	5							5	トリニダード・トバゴ	1							1
タイ	2							2	ペルー	2							2
ブルネイ	1							1	ベリーズ	2							2
(香港)	5							5	コスタリカ	2							2
モルディブ	4			2				6	グアテマラ	2							2
インド	2							2	スリナム	2							2
ブータン	4		1					5	ガイアナ	3							3
東ティモール	1							1	エクアドル	1							1
バングラデシュ	4	1					1	6	セントビンセント	2							2
モンゴル		1						1	パナマ	1							1
ベトナム		1	1	1				3	セントクリストファー・ネーヴィス	2							2
ジョージア				1			1	2	セントルシア	1							1
小計 20	78	3	3	5	0	0	2	91	ホンジュラス	2							2
ヨルダン	4							4	アンティグア・バーブーダ	2							2
トルコ	3							3	小計 22	59	0	0	1	0	0	1	61
アラブ首長国連邦	1							1	バプアニューギニア	6	2						9
クウェート	2							2	マーシャル諸島	1							1
シリア	3							3	マイクロネシア	2							2
レバノン	2							2	ソロモン諸島	3							3
パレスチナ	1						3	4	オセアニア地域	3	1	1	1				6
イラク	1		1					2	トンガ	8	1	1					10
イラン	2			1				3	フィジー	18	2	1	2				23
小計 9	19	0	1	1	0	0	3	24	キリバス	2							2
エジプト	4							4	バヌアツ	2							2
ベナン	1							1	ニウエ	4							4
ケニア	5							5	クック諸島	2							2
セネガル	5							5	ツバル	2							2
レソト	1							1	バラオ	1							1
セーシェル	2							2	小計 13	54	6	3	3	0	0	1	67
ウガンダ	1							1	アルメニア	4							4
ザンビア	3							3	ブルガリア	3							3
チュニジア	2							2	マルタ	1							1
ジンバブエ	4							4	エストニア	1							1
ジブチ	1							1	コソヴォ							1	1
マダガスカル	3							3	小計 5	9	0	0	0	0	0	1	10
エスワティニ	1							1	合計 (86カ国)	255	10	8	10	0	0	9	292
タンザニア	3							3									
アルジェリア		1						1									
ガーナ			1					1									
ソマリア							1	1									
小計 17	36	1	1	0	0	0	1	39									

(注) 1 2013年以前は「消火技術」コース
 2 国名等のエスワティニは、研修員受け入れ時はスワジランドである。
 3 2020年及び2021年は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

(8) 消防音楽隊

昭和38年2月、北九州市の誕生と同時に編成されました。音楽隊の演奏とカラーガード隊(平成4年9月発足)の演技を通じて、消防の広報に努めるとともに、市主催の式典やスポーツ・文化の祭典、国際的な行事などにも積極的に出演し、北九州市のPRに広く貢献しています。

平成14年度からは、市内の学校に出向く「消防“夢”コンサート」を、平成16年度からは水曜日のお昼の時間に「水曜コンサート」を実施しています。

(令和4年度実績) 消防“夢”コンサート：48校、水曜コンサート：0回

【第20表】消防音楽隊の編成

(令和5年4月1日現在)

隊	副 隊長	楽 長	副 楽 長	イン ス ペ ク タ ー	音 楽 隊 (楽 器 別 等)													カ ラ ー ガ ー ド 隊	総 数	
					ピ ツ コ ロ	フ ル ー ト	ク ラ リ ネ ット	バ ス ク ラ リ ネ ット	オ ー ポ エ	フ ァ ゴ ット	サ キ ソ フ ォ ン	ト ラン ペ ット	ホ ル ン	ト ロ ン ボ ー ン	ユ ー フ ォ ニ ア ム	テ ュ ー バ	エ レ キ ベ ー ス			パ ー カ ッ シ ョ ン
1	②	1 (1)	①	②	①	2 (2)	7 (6)	①	1 (1)	1	5 (3)	6 (3)	4 (3)	4 (2)	1 (1)	3 (2)	①	7 (3)	10 (10)	53 (37)

(注) ○の数字は、兼務。()内の数字は、会計年度任用職員で内数。

【第21表】出演状況(月別及び行事区分別)

(令和4年度)

月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
音楽隊	回数	4	2	12	6	6	11	19	18	6	1	3	3	91
カラーガード隊	回数	4	2	12	6	2	10	19	18	6	0	2	3	84
消防関係 (自主防災 団体含む)	回数	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	1	1	7
	聴衆者数	350	0	500	1,000	20	0	0	50	0	0	548	200	2,668
市・区関係 (夢コンサート含む)	回数	1	0	9	3	2	9	14	12	6	1	1	0	58
	聴衆者数	150	0	1,476	269	96	591	5,500	1,187	792	100	12,300	0	22,461
その他 (地域・団体等)	回数	2	2	2	2	3	2	5	5	0	0	1	2	26
	聴衆者数	500	15,400	550	350	11,080	300	2,000	1,650	0	0	10,000	400	42,230
合計	回数	4	2	12	6	6	11	19	18	6	1	3	3	91
	聴衆者数	1,000	15,400	2,526	1,619	11,196	891	7,500	2,887	792	100	22,848	600	67,359

(単位：回数/人)

